

ニコニコ箱・米山奨学金・ロータリー財団報告

【ニコニコ箱】

【結婚記念日御祝】 酒井哲夫・増田喜一郎
結婚記念日御祝 / 初瀬川達郎
竹澤さん、卓話ありがとうございました。(清川卓二)
佐々木会長、本日は全てお話し頂きありがとうございました。(小林満只)
本日はシネマクラブの「美女と野獣」たちで「美女と野獣」を観て来ます。(佐々木知也)
ニコニコ箱委員会目標額に向かって頑張ってください。(竹内由男)
竹澤先生、卓話ありがとうございました。(前川小百合)
ひろくんに心臓移植。一口入れさせて頂きます。(宮崎茂和)
各 君

【米山奨学特別寄付金】

細江 究
いよいよ来年度がスタートしていきます。本年度は着陸体制に入りました。(佐々木知也)
各 君

【ロータリー財団増進特別寄付金】

宇野良二
竹澤様、卓話ありがとうございました。(石丸敦士)
清水財団委員長の隣になりました。(出雲路康照)
来週からゴールデンウィークが始まります。皆さん楽しんで下さい。(佐々木知也)
竹澤先生、子供に関する卓話ありがとうございました。(野村直之)
喜び分かち Rotary です。(宮崎茂和)
竹澤先生、卓話ありがとうございました。(山井久也)
各 君

【寄付金の状況】

	4月27日分	累計	目標
ニコニコ箱	22,000円	2,387,000円	3,170,000円
米山奨学金	4,000円	2,190,000円	2,330,000円
ロータリー財団	14,000円	2,693,040円	2,791,000円

ありがとうございました。

同好会(シネマクラブ)

4月27日(木)テアトルサンクさんにて「美女と野獣」を鑑賞しました。前回の「チア★ダン」に続いて盛り上がりました。「美女と野獣」の映像は素晴らしかったです。鑑賞後、クッチーさんにて懇親会が行われ、たくさんの方に参加していただき美味しい料理を堪能し、盛り上がりました。



ビジター受付

- 5月18日(木) 福井水仙 福井パレスホテル(1F) 18:00-18:30
- 5月25日(木) 武生府中 JA越前たけふ会館 豊稜殿入口
- 6月1日(木) 武生府中 JA越前たけふ会館 豊稜殿入口
- 6月6日(火) 福井7エックス ザ・グランユアーズフクイ 18:00-18:30
- 6月30日(金) 福井あじさい ホテルリバージュアケボノ
- 6月30日(金) 三国 三国観光ホテルフロント



事務所 〒910-0006 福井県福井市中央1丁目3番1号 加藤ビル5階 TEL: 0776-25-0633 FAX: 0776-24-8622
例会場 ユアーズホテルフクイ 4F TEL: 0776-25-3200
クラブ会報委員会 委員長: 林 洋三 副委員長: 出雲路康照 委員: 太田 洋介・英 貴子
ホームページ http://www.fukui-rotary.com/ E-mail info@fukui-rotary.com
創立 昭和25年11月1日(1950年) 承認 昭和25年12月4日(承認No.7647) 例会 毎週木曜日12:30~13:30

現在
会員数
133名



福井ロータリークラブ会報

理事	監事	役員補佐
会長 佐々木知也	波邊 義信	副幹事 村中 洋祐
副会長・会長エレクト 平野 洋一	片山加奈子	副会計 伊藤 彰
直前会長 清水 嗣能	油谷 啓司	副会場監督 山本 啓史
幹事 石丸 敦士	小森 富夫	副会場監督 片山 元
会計 朝倉 真博	青少年奉仕 渡辺 和男	
会場監督 岩崎 新	ロータリー財団 清水 正一	

2016-2017
R.I. テーマ: 人類に奉仕するロータリー
地区テーマ: 夢を語り、現在を刷新

本日の例会

2017年5月11日
第3279回

12時30分 開会点鐘 会長挨拶
栄誉行事 / 皆出席御祝 北島 恬(30年)、浅井正勝(4年)、佐々木知也(1年)、村上憲司(1年)
在籍御祝 荻原昭人(10年)
誕生日御祝 野尻章博、山本 宝、増田喜一郎、伊井彌州雄、中山浩行、竹原和行、加藤信一、森川圭造、岩下春幸
配偶者誕生日御祝 橋本泰久、西澤雄三、中広 久、大森正男、増田喜一郎、後藤正邦、清水正一、石橋正人
結婚記念日御祝 小藤幸男(金婚式)、木下勝元、橋本泰久、武本一美、須賀原和広、木瀬雅博、油谷啓司、大門博也、木村憲一、土屋道照、野村直之、杉本裕之、西澤雄三、開発 毅、加藤信一、伊藤仁一郎、林正岳、細江 究、村上憲司

委員会報告・幹事報告・その他
会員卓話(堀内 康代会員)
13時30分 閉会点鐘



今後の予定

- 5月18日(木) クラブ協議会(次年度活動計画)
- 5月25日(木) ゲスト卓話(株みずほ銀行 村田 憲司支店長様)
- 6月1日(木) 栄誉行事/ゲスト卓話(福井大学 教職大学院 准教授 半原 芳子様)
- 6月8日(木) ゲスト卓話(福井鉄道(株) 代表取締役 村田 治夫様)

次回の例会 2017年5月18日(木)

- 会場: ユアーズホテルフクイ
- 開会点鐘: 12時30分
- クラブ協議会(次年度活動計画)
- 閉会点鐘: 13時30分

会長挨拶

会長 佐々木 知也



鯖江市にある小林会員が社長を務める不動産を訪ねました。73年前、祖父が織物屋の部品木工所として創業しました。父はその木工所をリフォーム会社に変え、その会社を21年前に「不動産建設」という社名変更し、現在は不動産業と建築業の両方を行なっています。現在46歳で3代目の小林会員ですがユニークな経営をしています。小林家は両親と夫婦、子ども3人の7人暮らしです。「家族一人一業種」をモットーに商売をしています。父親は現在「よろず相談会社」を営み、母親はクリーニングの取次店をやっており、小林会員の奥様は美容室を建設会社と同じ敷地内で営んでいます。美容師2名のスタッフと共に12年前から経営しています。美容室事業の業績は順調で不動産建設の美容事業部門として貢献しています。15年前、自身の頃に偶然知り合った今の奥さんが美容師だったといひます。

小林会員は、地元の中学・高校を卒業して大阪の専門学校に進学しました。中高時代はソリ込みを入れたヤンキーを貫き通したそうです。高校時代は鯖江で「夜光乱」(やこうらん)という暴走族グループの創設メンバーとして活躍していたそうです。彼がいた高校は私の会社のすぐ裏にあるT高校でした。この生徒さんは当社敷地すぐ横を通って通学して行きます。全般的に大人しい生徒が多いのですが、当時は一部が暴徒化していたようで、当社工場の窓ガ

ラスが石を投げられ、たびたび割られていました。何とか高校を卒業し大阪の建築専門学校へ行きますが、ここでも全国各地のヤンキー風連中とつるんで遊んでいたそうです。2年後に専門学校を卒業してから大阪のある工務店に入社します。社会人になってから小林会員は変わっていきます。これまでの悪行三昧はすべて卒業し、まっとうな社会人として頑張っていくのです。新人社員歓迎会ではひととき目立ったらしく、直接社長から「お前は営業にいくか、さもなければ採用取消や!」と言われたそうです。やむなく営業職になり1ヶ月の研修後何もわからず外に放り出されました。新人営業マンとして毎日飛び込み営業を続け6ヶ月後、たまたま1億数千円という大型物件を受注することができました。そのオーナーさんに気に入られた小林会員は、オーナーの親戚や近所さんを次々に紹介を受け受注していきました。そして一気にトップセールスになったのです。その時ついたあだ名は「バカづきんちゃん」。5年後の25歳の時には部下10人をもつリーダーになっていましたが、親から帰ってくるように言われ家業を継ぐことになりました。

25歳で土木管理技師、27歳で宅地建物取引士、29歳で難関の一級建築士の資格をつぎつぎ取得しました。とくに一級建築士試験は人生で一番勉強したそうで、合格の通知を受けたときは嬉しさのあまり泣いたそうです。

現在、小林会員は公職を多く引き受けており、県PTA連合会役員はじめ来年は中学校PTA会長、防災士ネットワーク副会長、鯖江警察署の少年協働員副会長を務めているそうです。少年協働員というのは、青少年の非行や私生活などを正す指導員だそうです。これまでの恩返しのため鯖江市を住み良い街にお願いします。

例会報告

2017年 4月 27日 第3278回 例会

- 出席報告**
- 現在会員 133名
 - 出席者 77名
 - 欠席者 46名
 - 出席免除者欠席 10名
 - 今回例会出席率 62.6%

- 例会修正出席率**
- 4月13日
- メークアップ 37名
 - 欠席者 23名
 - 修正出席率 81.6%

●メークアップ 北 晋介(4/28 福井あじさい)、須賀原和広・平野洋一・村中洋祐・清川卓二・大森正男・前川小百合・城戸利枝・清水盛伸・後藤正邦・岩崎 新 (4/30 地区 2017-18年度 地区研修・協議会)、須賀原和広(5/8 福井東)、(5/8 親睦活動委員会 26名) 各 君

例会

米山功労者表彰

- 加藤 幹夫会員 (第12回)
- 菅原 将高会員 (第6回)
- 清水 則明会員 (第3回)



幹事報告



幹事 石丸 敦士

①次週 5/4 (木) の例会は祝日の為、休会となります。次回例会は 5/11(木) となり、堀内会員の会員卓話です。

②前回の例会でご案内致しました「ひろ君を救う会」募金も設置しておきます。皆様の善意で募金へのご協力を引き続き宜しくお願い致します。

③5/25(木)13:45 ~ 15:30 に、今年度、次年度理事役員委員長連絡会議を行います。今年度委員長の方々は事業報告書、次年度委員長の方々は事業計画書のご提出準備をお願い致します。締め切りは 5/10(水) となります。

地区委員長・副委員長・委員 委嘱状授与

2017-2018 年度 第 2650 地区出向者

- | | |
|----------------------------|-------------------------|
| ・ロータリー情報委員会 副委員長 木村 憲一会員 | ・青少年交換委員会 委員 伊藤 仁一朗会員 |
| ・RLI 委員会 委員 木村 憲一会員 | ・米山奨学委員会 委員 伊藤 彰会員 |
| ・会員増強拡大・学友委員会 副委員長 渡邊 義信会員 | ・財団基金推進委員会 委員 野村 直之会員 |
| ・広報委員会 副委員長 藤本 潤一会員 | ・社会奉仕委員会 委員 岩崎 新会員 |
| ・新世代育成基金特別委員会 委員 須賀原 和広会員 | ・インターアクト委員会 委員 木瀬 雅博会員 |
| | ・ロータリーアクト委員会 委員 土屋 道照会員 |



2017-18 年度 地区研修・協議会

4月30日(日) 国立京都国際会館にて2017-2018年度 地区研修・協議会が開催され、当クラブから平野洋一会長エレクトをはじめ各担当委員の皆さんが出席されました。出席された委員の方からは「中身の濃い会議ですごく勉強になりました」ということでした。



ゲスト卓話



びわこ学院大学 教育福祉学部 講師 社会福祉会 会長 竹澤 賢樹 様

「社会的養護の現状 一夢をもてない子どもたち」

本日は、社会的養護の現状を知っていただくために福井県里親会の立場で話をしに参りました。

「社会的養護」とは、「保護者のない児童や、保護者に監護させることが適当でない児童を、公的責任で社会的に養育し、保護するとともに、養育に大きな困難を抱える家庭への支援を行う(厚生労働省)」こととなっています。つまり、親のいない子どもや親などからの虐待を受けている子どもたちが対象となります。その子どもの数は、決して少なくないのが現状です。

私は、十数年前の一人の女兒との出会いから子どもの権利保障や子どもに対する支援に真剣に取り組みなければならぬと思いました。あるとき、私が、その女兒に将来の夢を聞いたところ、「カーレーサーになりたい!」と答えてくれました。さらに、その理由を尋ねると「危険でしょ、死にやすいでしょ!!」との返答でした。彼女の言葉を聞いた瞬間、かなりの衝撃を受けたことを覚えています。後に判明しましたが、彼女は親からの心理的虐待を受けていました。

さまざまな事情で親と一緒に暮らせず、社会的養護の対象となる子どもたちが全国に約4万5000人おります。そのうちの1割強が里親世帯等で暮らしています。また、福井県では、そういった子どもが200人以上おり、そのうちの約20~30人が里親と一緒に暮らしています。諸外国の多くは約半数以上が里親と生活していますが、それに比べ里親委託率が低いのが日本の現状です。

さて、虐待を受けた子どもたちの特徴として、自己肯定感や自己効力感の低さや無力感・絶望感などが現れますが、彼らにとっては必然的な状態だと思えます。本来、無条件に愛されるべき人から虐待を受ける。自分が意思を発信してきた結果、自分にとって良くないことが自分に起こる。その経験を繰り返せば繰り返すだけ、自分に対する評価を下げ、世の中に絶望感を抱きます。その結果、意欲的に生きることをしなくなり、生活にさまざまな影響を及ぼしてきます。

被虐待児の支援として、私が感じている重要なポイントを二つお伝えしたいと思います。当然といえば当然ですが、「子どもの心のケア」と「自立支援」です。子どものころに受けた心の傷をできる限り癒し、人を信じていることができるように、そして夢をもつことができるように周りの大人が関わっていく。このような関わりをするには、施設での入所生活では限界があり、できる限り家庭に近い環境で個別に関わる必要があります。そのためには里親制度を多くの人に知っていただき、里親のことを理解していただきたいと思います。

18歳で児童福祉法の対象から外れますが、現在の社会で自立した生活を送ることは困難だと思えます。そのあとの自立支援については、経済的な面が主な課題となりますが、現状では十分な支援があるとは言えない状況です。

こういった社会的養護の子どもたちの支援を考えると、まずは実情を社会全体で共有し、それぞれの立場で何が出来るかをしっかり考えていくことが重要であり、さらにそれを恣意的にばらばらにするのではなく、支援体制を組織的に機能させる必要があると思えます。ひとりでも多くの方の理解を得られるよう取り組んでいきたいと思えます。ご清聴ありがとうございました。

委員会報告



ロータリー情報委員会 須賀原 和広 委員長

今年最後の炉辺会談を6月中頃までに開催予定しています。班の構成は、次年度の委員会別に変更しました。

テーマは『クラブ内の効果的なコミュニケーションについて』です。このテーマは地区での私が与えられたテーマです。開催場所については会員の方の店をご利用頂くようお願いします。



村中 洋祐 副幹事

- ①青少年交換学生委員会が抜けていた為、次年度組織表を更新しました。
- ②次年度の理事役員委員長の連絡会議 5月25日(木) 13時45分より開催予定しています。
- ③5月10日締切で活動報告、事業計画の提出をお願いします。

社会的養護

保護者のない児童や、保護者に監護させることが適当でない児童を、公的責任で社会的に養育し、保護するとともに、養育に大きな困難を抱える家庭への支援を行うことです。

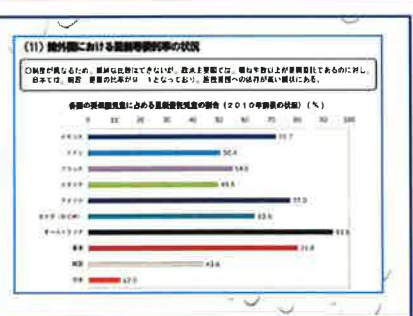
社会的養護は、「子どもの最善の利益のために」と「社会全体で子どもを育てる」を理念として行われています。

(厚生労働省)

社会的養護の現状

国	児童数(万人)	里親委託率(%)
日本	4.5	10
アメリカ	1.5	50
ドイツ	0.5	50
フランス	0.5	50
韓国	0.5	50
中国	1.5	50
インド	1.5	50
ブラジル	1.5	50
ロシア	1.5	50
オーストラリア	0.5	50
ニュージーランド	0.5	50
シンガポール	0.5	50
香港	0.5	50
台湾	0.5	50
韓国	0.5	50
中国	1.5	50
インド	1.5	50
ブラジル	1.5	50
ロシア	1.5	50
オーストラリア	0.5	50
ニュージーランド	0.5	50
シンガポール	0.5	50
香港	0.5	50
台湾	0.5	50

対象児童は、約45,000人!



社会的養護の課題

- 子どもの心のケア
人を信じていることができるように
絶望感からの回復
夢の獲得
- 自立支援
児童福祉法の対象から外れたあと
経済的支援